

マンション・集合住宅の雑排水管を甦らせる
画期的なリニューアル技術



DSL工法

〔ドレン シャトル ライニング〕

DSL工法の適用範囲

- 管径：32A～150A
- 管種：配管用炭素鋼管
水配管用亜鉛めっき鋼管
排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管
排水用タールエポキシ塗装鋼管
排水用鋳鉄管
ねじ込み式排水管継手
排水鋼管用可とう継手
排水用鋳鉄管異形管
溶接継手

公的証明

DSL工法は、平成15年7月に雑排水管更生技術として「技術審査証明」を受けました(審査証明第0301号)。技術審査証明は、新しい建設技術の活用促進に寄与することを目的として、民間において自主的に研究・開発された新技術について、建設技術審査証明評議会の会員である国土交通省所管の公益法人が実施しているものです。



技術審査証明書



本社：〒541-0051大阪市中央区備後町3丁目3番15号 Tel. 06-6556-0801 Fax. 06-6556-0803
東京支社：〒169-0075東京都新宿区高田馬場3丁目35番2号 Tel. 03-3366-9251 Fax. 03-3366-5214

URL: <http://renotech.jp/>



厚い塗膜で長期の耐久性を実現!!

『即日復旧・即日排水』ができる1日工法



定期洗浄をしても排水の流れが悪かったり、漏水事故が起きてしまいます。マンション・集合住宅やビルのこんなトラブルの原因のほとんどは、長年に渡り積みもった雑排水管の汚れ・腐食によるものなのです。配管に穴があく程腐食が進行してしまうと、もう手遅れで、全面的な更新工事を行うしかありません。そんな事態を避けるために先手を打ち、延命を図る更生技術『DSL工法』を採用すれば解決いたします。

DSL工法の概要

DSL工法とは、「DRAIN SHUTTLE LINING(ドレン シャトル ライニング)」の頭文字をとった名称です。

本工法は、既存の建物内に配管されている雑排水管の延命を図るため、配管を取り外すことなく、管内面に防錆塗膜を形成する技術で、事前調査・診断から施工・検査及び品質保証に至る一貫した工事システムです。

DSL工法の特徴

●1日工法

ライニング後の温風硬化促進により、即日復旧・即日排水ができます。

●厚膜確保

ボール(ライニングピグ)を空気圧力により移動させ、優れた耐薬品性、耐摩耗性を有する「エポキシ樹脂」を配管内に連続して塗布するため、管内面に塗り残し・ピンホール・管閉塞がなく、1mm以上の厚塗りが可能となります。

●大阪ガスが工法開発

この工法は、大阪ガス(株)がガス管ライニング技術を基に開発した信頼性の高い排水管更生技術工法です。

工事フロー



事前調査

●管の肉厚測定



●内視鏡検査

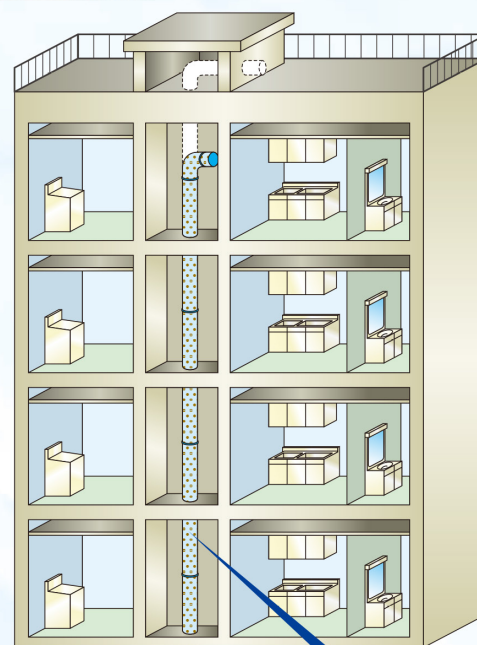


クリーニング

●エア式研磨装置(研磨材)



●電動回転研磨装置



研磨材+高速空気流
あるいは(電動回転研磨装置)

ライニング

●エポキシ樹脂投入



●ライニングピグ投入

